

平成 26 年度文化スポーツ部の主要事業の概要

【生涯学習スポーツ課】（生涯学習）

〔主要事業〕

1. 生涯学習の推進（継続）

(1) 生涯学習事業

- ・ 「公民館講座」、「市民企画講座」、「私が講師事業」など市民の学習活動への支援
- ・ 市役所ふれあい出前講座の開催
- ・ 第 10 回生涯学習研究大会の開催
- ・ 成人式の開催（H27. 1. 11）

(2) 家庭教育支援事業

- ・ 子育てサポーターの養成と活動支援
- ・ 子育て親支援専門講座の開催
- ・ 公民館乳幼児学級支援
- ・ 児童、生徒の保護者等への家庭教育学習講師派遣

(3) 青少年健全育成事業

- ・ 青少年健全育成推進市民会議 13 支部 3 分会活動を中心とした家庭・地域・学校連携の取組み
- ・ 地域が関わる子どもの居場所づくり「放課後子ども教室」の開催
- ・ 第 6 回青少年健全育成市民大会の開催（市 P T A 連合会共催）
- ・ 第 3 4 回少年の主張大会の開催

2. 公民館（13 館）活動の推進（継続）

- ・ 地域の課題に取り組む地域づくり型学習の推進
- ・ 「地域づくり型人材育成講座」（市民協働課連携）の開催（新規）
- ・ 中央公民館改修事業の推進
- ・ 地域公民館改修事業の推進
- ・ 職員の社会教育主事資格取得講習の受講（1 名）

3. 交流事業の推進（継続）

(1) 市民国際交流事業

- ・ 中学生海外派遣研修事業の実施（市民スタッフによる事業運営）
- ・ 市民国際交流事業検討委員会の開催

(2) ブラジルレジストロ市との姉妹都市交流事業

- ・ 姉妹都市友好推進協会総会の開催、情報交流、機関紙アミザージの発行、イベントでの P R 活動

(3) 三市（中津川市、名古屋市、豊田市稲武町）ふれあい交流事業の実施

4. 読書活動の推進（継続）

- ・ 中央図書館と連携した公民館における読書活動の推進

〔主要事業〕

1. 読書活動の推進（継続）

- (1) 雑誌スポンサー制度の導入(新規)
- (2) 「中津川市子ども読書活動推進計画」(H24～28)及び実施計画の推進と進捗管理(H25分)
- (3) 地域における読書活動の推進
 - ・ 公民館と連携した読書活動の推進
 - ・ 公民館図書コーナーの活用支援〔坂本・落合〕(新規)
- (4) ボランティアコーディネーターを活用した読書活動の支援
 - ・ 幼稚園・保育園・学校等からの要望に応じて読み聞かせボランティアの派遣
 - ・ 地域の図書室・学校図書館からの要望に応じて図書館応援ボランティアを派遣
- (5) 読書推進行事の充実
 - ・ 全市に向けた読書啓発行事(図書館まつり・はがきコンクール・絵本ジャンボリー)の開催
 - ・ 地域での読書活動関連イベント(地域ごとの図書まつり等)、企画等への支援
- (6) 市役所各部局への資料活用啓発と連携(新規)

2. 図書館施設の充実（継続）

- (1) 施設の修繕及び改修工事の実施
- (2) 機器設備、備品等の更新
 - ・ 大工ボランティアとの連携

3. 図書館サポーター等の育成（継続）

- (1) 読み聞かせ、図書館ボランティア、ジュニアボランティアの養成講座の開催(継続・新規)
- (2) 養成講座修了生の活動の支援と協働事業の拡大

4. ネットワークシステムの運用（継続）

- (1) 物と情報と人を3本柱とし、中央、済美、各公民館図書室等及び幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、大学の図書館や老人福祉施設、企業、各種団体とのネットワークの強化
 - ・ 物(施設・備品)・・・配本カーを活用したサービスの拡大
 - ・ 情報(資料)・・・各公民館を中央館と結び、どこからでも誰でもが貸出し可能な全市的ネットライ
ンの活用
 - ・ 人(人的支援)・・・専門知識を持つ職員による選書や配架等の巡回支援
- (2) 図書館情報システム契約の更新(新規)

5. 絵本などの読み聞かせによる子育て・人づくり事業（継続）

- (1) お話し会の開催と読み聞かせの実施
- (2) 市内の幼稚園・保育園への訪問読み聞かせの実施
- (3) 「ブックスタート事業」による乳幼児期からの読書習慣の普及
- (4) ヤングアダルト向け並びに大人向けの読書イベント等関連事業の実施
- (5) 市読書サークル連絡協議会との連携・協力と支援

6. 蔵書充実事業の推進（継続）

- (1) 済美図書館や公民館図書室等の地域特色をもった魅力ある蔵書構成づくりへの指導
- (2) 行政・歴史・文化等の郷土資料の積極的収集と整理及びその情報発信
- (3) 文化振興課と連携した行政資料や歴史・文化財資料の目録データベース化とアーカイブの具体化
- (4) 他館との資料の相互貸借制度の積極的活用
- (5) 障がい者への録音図書及び点字図書や、大活字本の充実と利用の拡大

7. その他

- (1) ホームページリニューアルにより利用者が親しみ易く活用し易い図書館案内と利用拡大(継続)

〔主要事業〕

1. 芸術・文化の振興に関する事業（継続）

- (1) 地域伝統芸能である文楽・地歌舞伎保存会等の活動支援
- (2) 郷土の先人顕彰に関する事業の実施
 - ・ 第7回前田青邨大賞公募展募集開始（H27 開催予定）
 - ・ 第8回島崎藤村記念文芸祭（現代詩、短歌、俳句、エッセー）の開催支援
- (3) 第63回市民展（洋画、日本画、彫刻、版画、書、写真、工芸）
- (4) 各地域文化協会・文化団体の自立活動の支援
- (5) 各種芸術・芸能・文化事業の後援等

2. 文化財の保護、管理、活用事業（継続）

- (1) 国指定史跡「苗木城跡」整備保存事業（二の丸石垣、天守展望台修繕塗装、支障木伐採）
- (2) 国指定史跡「落合宿本陣」の公有化（新規）
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査（青木斧戸線）と確認調査（リニア新幹線）（新規）
- (4) 歴史的・文化的に価値のある建物や資料の保護・保存
 - ・ 古民家の調査及び登録有形文化財への登録
 - ・ 郷土資料の調査、保存、活用
- (5) 指定文化財の保護・管理
- (6) 文化財保護審議会の開催と各地区文化財保護員等の活動支援
- (7) 郷土資料調査や文化財保護の人材育成

3. 芝居小屋の維持管理と有効活用事業（継続）

- (1) 県指定文化財「明治座」の耐震改修事業（新規）
- (2) 2014 演劇 CAMP in 中津川（常盤座 他）
- (3) 明治座クラシックコンサート

[主要事業]

1. 博物館施設管理運営事業（継続）

(1) 施設の維持管理

- ・ 中山道歴史資料館
- ・ 苗木遠山史料館
- ・ 子ども科学館
- ・ 鉾物博物館
- ・ 東山魁夷心の旅路館
- ・ 青邨記念館（休館中）

(2) 所蔵資料及び展示資料等の整理

- ・ 資料収集、整理、調査、保存、研究等の充実

2. 企画展示事業（継続）

(1) 各館の特色や地域資料を活用した企画展を開催

- ・ 中山道歴史資料館：開館10周年記念「信頼で結ばれた情報ネットワーク」
- ・ 苗木遠山史料館：「苗木藩と寺院」「大名料理復元展」「青邨作品特別展示」
- ・ 子ども科学館：科学館ミニ工作祭り、各コーナーでの実演・実験など
- ・ 鉾物博物館：「第18回企画展」「私の展示室」
- ・ 東山魁夷心の旅路館：四半期ごとの展示替え

3. 「参加する博物館」「開かれた博物館」運営事業（継続）

- ・ 各館共通事業：無料入館日を実施し各館独自の催しを行いPR

国際博物館の日（5/18） 文化の日（11/3）

- ・ 中山道歴史資料館：歴史講座、古文書入門講座など48回開催
- ・ 苗木遠山史料館：土曜歴史講座など24回開催
- ・ 子ども科学館：科学館まつり、教室、天体観測会など16回開催
- ・ 鉾物博物館：ミュージアムフェスタ、教室など20回開催

4. その他

(1) 各館ホームページの充実（継続）

(2) 各館共通年間パスポートの導入（新規）

〔主要事業〕

1. 芸術文化の鑑賞機会の提供、文化振興の拠点づくりの推進（継続）

(1) 文化施設の管理運営

- ・ 東美濃ふれあいセンター
- ・ 中津川文化会館
- ・ アートピア付知交芸プラザ
- ・ 福岡ふれあい文化センター

(2) 市民・行政の相互の協力体制の確立

- ・ 「中津川市自主文化事業協議会」（仮称）の設置
- ・ 中津川市文化協会による中津川文化会館の業務一部委託（継続）
- ・ 文化施設の運営と維持管理の指定管理者制度に向けての取組み

2. 自主文化事業（継続）

(2) 東美濃ふれあいセンター

演劇等 : ライブ

伝統芸能：東濃歌舞伎保存会大会他1事業

伝承記録事業

映画上映：歌舞伎ホールシアター2事業（12回上映）

(3) 中津川文化会館

市民参画事業：スタインウェイピアノ無料体験演奏会

演劇等ワークショップ

音楽鑑賞：コンサート2事業

映画上映：子供向けアニメ映画

舞台芸術：ミュージカル公演

(4) アートピア付知交芸プラザ

映画上映：旧作映画

(5) 福岡ふれあい文化センター

映画上映：子供向けアニメ映画

(6) 広報活動（継続）

ふれあい文化だより発行：月間発行（毎月1日新聞折込 恵那市・中津川市）

3. 中津川公園管理運営事業（継続）

(1) スポーツ施設の管理運営

- ・ 競技場
- ・ 多目的広場
- ・ テニスコート
- ・ 野球場
- ・ 多目的芝生広場
- ・ スケートパーク

(2) 市民・行政の相互の協力体制の確立

- ・ 中津川市体育協会による中津川公園内各施設の業務一部委託（継続）
- ・ 中津川公園内各施設の運営と維持管理の指定管理者制度に向けての取組

〔主要事業〕

1. 生涯スポーツの推進（継続）

- （1） 体育協会・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ等各種スポーツ団体の活動を支援し、市民の自主的・積極的なスポーツ活動の推進
- （2） 1人1スポーツ活動等地域における生涯スポーツ活動支援
- （3） 地域スポーツ活動推進の指導を担うスポーツ推進委員の活動支援と指導者の育成推進

2. 子どもたちのスポーツ活動の推進（継続）

- （1） スポーツ少年団活動の活性化と地域スポーツ指導者の育成推進
- （2） 「子ども金メダル事業」を継続し、子どもたちに自信と誇りを持たせ、豊かな心を育み、地域ぐるみで健全な子どもたちの育成推進
- （3） 「こころのプロジェクト事業」を継続
 - ・ 子どもたちの豊かな心を育むため、トップアスリート等が講師となった「夢の教室」の開催（全小学5年生継続）

3. スポーツの競技力向上と多様な機会の充実（継続）

- （1） 体育協会及び競技協会を中心に競技力の向上と人材の育成
- （2） 多様な機会の充実として、市民が身近に「本物を見る・触れる・体験できる機会」の提供（野球など）

4. スポーツ施設の維持管理・整備（継続）

- （1） 民間活力を生かした市民参加型の施設維持管理（指定管理者制度）の推進
- （2） 市民のスポーツ環境整備のため、計画的な施設整備・改修・修繕（B&G大規模改修事業等）

5. スポーツ振興計画の策定（新規）

- （1） 市民の健康増進や生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備や支援を推進
- （2） 障害者と共に安心して利用できるスポーツ施設整備の推進
- （3） ライフステージに応じた、スポーツ活動のための指導者育成の推進
- （4） 2020年東京オリンピック、2027年リニア新幹線開通等を見据えた新たな地域振興

1 公民館名 中央 公民館

2 重点方針

1 地域づくり学習事業の充実と発展

地域づくり学習事業として「熟年大学」「女性大学」「乳幼児学級」等の講座を開設し、今日的な学習課題の発見に努め、日常的な学習活動の拠点として内容の充実を図ります。また、日常生活に則した地域課題、生活課題を見つけ出すことによって、地域住民の暮らしと学びを支援していきます。

2 文化・スポーツ講座の充実

市民ニーズの把握に努めながら、住民相互のふれあいや繋がりを育む場を創出することによって、住民個々の趣味や健康増進への取り組みを地域づくりやボランティア活動へ活かしていくための端緒とします。

3 交流・学習活動の推進

誰もが気軽に活用できる公民館運営を推進し、交流・学習・仲間づくりの場の提供を通じて、地域づくりの一端を担っていく。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
地域づくり 学 習		熟年大学	高齢者の生涯学習活動や生きがいをづくり、積極的な社会参加活動を支援する。	年間11回開催。様々なテーマに沿って講師を招き学習を行なうとともに、一日バス研修や新年のつどいなどを通じ、楽しみながら交流を深める。また文集「寿松39号」を発行する。	役員と公民館担当者が一緒になって企画・運営している。
		女性大学	女性が生活の中で関わる日常的な課題を学び、活かすとともに、相互の交流を深め、女性の立場から地域づくりに携わるための端緒とする。	年間9回開催。女性が興味を持ち、日常生活の中で課題として捉える事柄を学習プログラムの中に取り入れていく方向で企画・立案。	設立当初から講座内に役員を置くことによって、一貫した自主運営・企画が成されている。
		乳幼児学級	乳幼児を持つ親が、子育てに関することを学習しながら交流を深め、情報交換や悩みの解決を図り家庭の教育力の向上を図る。	0～3歳児の親子を対象に月1回程度開催。講師を招いての子育て学習や親子でふれあいながらの実習、行事などを通じて交流を深め、親同志のネットワークも作っていく。	交流・情報交換に対する要望は高く、託児を利用しながら学級生の企画・運営への参画を検討・推進していく。
		歴史案内ボランティア講座	中山道などを中心に地域の歴史を紐解き、自らが学んだ様々な知識をボランティアとして地域活動に活かしていく。	月一回の開講の中で、現地踏査などの実体験を通じた知識の習得を図り、歴史案内を行うことのできるボランティアの育成を目指す。	講師と受講生の代表が話し合いながら自主的に運営している。
公民館講座	文化スポーツ講座	市民の学習要望に基づき、様々な講座を開講することによって、生涯学習ならびに社会教育活動の推進を図る。	市民ニーズに沿った講座内容とし、例年18～20講座を開設。地域づくりの一環として、住民の学びの意欲を充たすとともに、出会いやふれあいの場としての機能を担うものとする。	受講生の中から代表者を選出し、講師と話し合いながら年間計画を立てるなど、自主的な運営が成されている。	
	市民大学講座	全市の規模で取り組む生涯学習活動ならびに社会教育活動の一環として実施。	比較的学習レベルの高い講座をメインに開設していく。昨年度と同様、いくつかの地域で各々企画し開講。5講座程度を予定。	受講者の拡大を図るため、より身近な課題にも目を向け、講座内容の多様化を図ることも検討。	
文 化	公民館まつり	講座やサークルの学習成果発表の場。発表を通じより高い目標を見つけることによって、学習意欲を高め、更なるスキルアップを図る。	実施期間を3月とし、公民館友の会との協同で開催。ステージ発表と作品展示を柱に、バザーなども催しながら、公民館利用者の祭典・交流の場として開催。	公民館講座・サークルの発表の機会であると同時に、市民に公民館活動をPRし、関心を持ってもらうための機会とする。	
施 設	利用者意見の反映	地域行政の拠点として、公民館の管理ならびに運営面に利用者の声を反映させていく。	利用者団体である「中央公民館友の会」の総会ならびに役員会をはじめ、日々寄せられる多くの公民館利用者の意見を活かした管理・運営を行っていく。	利用者の声を、管理・運営面での主要案件となる施設改修にも反映させるよう努める。	

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 苗木 公民館

2 重点方針

- 1 家庭教育学級の充実に向け、自主的な学習活動の支援を行うとともに、リーダー的な役割を果たす人材の育成に努め、活動の更なる推進を図ります。
- 2 子どもたちが人間性豊かに成長できるよう、青少年の健全な育成は社会全体の責任という認識のもと、学校・家庭・地域が相互に連携して、子供たちが安心して暮らせる環境づくりを推進します。
- 3 芸能協会や風流おどり地元連などの各種団体と連携し、次世代へ繋げていくための後継者育成活動を支援し、伝統文化の保存・継承の推進を図ります。
- 4 体育協会と連携し、スポーツ活動を通じて住民同士の親睦と体力増進及び地域づくり活動を支援していきます。
- 5 苗木交流センターの建設については、建設委員会を中心に区長会やまちづくり推進協議会などの地元団体とも諮りながら、安全・安心で地域住民が気軽に利用でき、地域づくりの拠点として親しまれるような施設の建設を目指します。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	子育てサロン	子育てに関する学習の場として、仲間づくりと自主的な活動を支援し、家庭及び地域の教育力向上を図る。	食育、健康体操、読書活動などを実施。	地域の各団体との協力を増やし、内容の幅を広げることを検討中。
	ぴっころ【乳幼児学級】		月ごとに受講生が順番に会の内容を企画・運営している。季節の行事、講話、お楽しみ会などを実施。	
	親子一日教室	様々な体験活動を通して、親子のふれあいや異なった年齢層との交流・親睦を深める機会を創出する。	親子のふれあいをテーマに、苗木地区の小学生の親子を中心に体験学習やスケート教室を実施。青少年苗木支部とも連携し、保育園児親子を対象とした読み聞かせ講演会なども開催。	実施方法や内容について、関係団体とも協力し、検討を重ねていく。
	青少年健全育成事業	家庭・学校・地域がそれぞれの役割を再認識することにより、各関係団体を含めた地域全体の連携を深め、青少年健全育成活動の一層の推進を図る。	年4回の支部会議を通し、関係団体と積極的な情報交換を行う。青色防犯パトロール車による夜間巡回活動を通年実施。また、保小中への図書寄贈などを継続的に実施し、併せて読み聞かせ講演会なども開催。新成人への記念写真の贈呈など幅広い年齢層に対して活動を行う。	支部事業について、活動のさらなる展開を目指し役員会を中心に検討を重ね、関係する他団体とのさらなる協働体制の構築を図っていく。
	公民館講座・学習教室	学習に関する情報や学習機会の提供など、地域住民の学習活動を支援し、住民や学習者の活動促進を図る。	習い事等の趣味的な講座のほか、区民大学や栄養教室など日常生活の中における身近な課題について学ぶ学習講座を開講。男性の参加を企図するほか、幅広い年齢層の参加も図っていく。	住民の意向の把握に努め、内容の見直しなど次年度以降の講座開設に向けて検討を行う。
文化	区民作品展	芸術や文化に触れる機会を充実させるとともに、住民の学習活動への参加意欲を高め、地域における日頃の学びの成果を披露する場を創出する。	保育園、小中学校のほか、地域住民やサークル、公民館講座等において製作した作品を小学校体育館に展示披露。	地元福祉施設にも参加を呼びかけ、地域交流の場としての位置付けなども行っていく。
	風流おどり伝承	風流おどり発祥の地である苗木地域の伝統芸能をとだえさせることのないように次の若い世代へ伝承していく。	高齢化による『連』メンバーの減少が目立ち、今後の活動が危惧されるため、新たに発足させた「苗木小学連」への指導・支援を通じ後継者づくりを推進する。	「苗木小学連」の活動も軌道に乗ってきており、継続的に指導・支援を行っている。
スポーツ	各種スポーツ大会、教室	住民の健康や運動習慣、体力づくりへの関心を深めるとともに、地域内の親睦を深める。	バレーボール、ソフトバレーボール、野球、ソフトボール、健康マラソン等の各大会やスケート教室などを開催する。	住民の意向収集に努め、体育協会と連携を取り、住民ニーズに沿った事業内容を検討していく。
運営	区民の声の反映	苗木交流センターの建設を中心に、地域住民の声を聴き、公民館の管理や運営等に反映させる。	苗木交流センターの建設に関しては建設委員会が中心となって、地域住民や利用者、各関係団体等の意見をしっかりと反映させていけるよう建設計画を策定していく。	

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂本 公民館

2 重点方針

1. 公民館活動は、地域に住む人々と密接につながる重要な学習の場であり、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいつそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2. 家庭教育学級の充実のため、子ども学習教室、サークルの開催を支援するとともにリーダーを育成し、将来を担う子どもを皆で育てる環境の醸成に努める。
3. 青少年健全育成坂本支部と見守り隊などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
4. 生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康・体力づくりを推進する。
5. 坂本ふれあい施設と連携を図り、乳幼児の親さんの子育て支援と子どもと高齢者とのふれあいを推進する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
	生涯学習	公民館講座の開設	住民の身近な学習や交流の場として生きがいをづくりを支援し、地域づくり、人づくりのため推進を図る。	趣味の教室や市民の生活に身近な課題をテーマに講座を開講し、人と人のつながりや、地域づくりボランティア活動への契機としていく。今年度は二つの講座を入れ替えて魅力ある講座にしたい。	地域づくり学習:2講座 文化スポーツ講座:9講座 予定 若年層が興味を引くような講座をしたい。
		高齢者大学 「はなのき大学」	高齢者が元気よくいきいきと暮らせるよう、また積極的に社会参加できるように支援する。	地元の講師等を招き健康講話、歴史講話、社会見学、歩け歩け大会などを開催。また自主サークルのカラオケクラブ、民踊クラブなどを組織する。	高齢者が興味のある内容にした い。
		青少年健全育成	市内で一番のマンモス小学校を抱える坂本地区として、子ども会を支援しながら、人や地域を愛せる心を育む活動を目指す。	7月の社明大会、夏休み期間中の夜間パトロール活動、11月の青少年健全育成強調月間での独自の取り組み、1月の「家庭の日」の取り組みを推進する。	1月の「家庭の日」の書初めを学校と連携し、より多くの生徒さんに提出していただく。
		図書コーナーの充実	公民館のロビーの一角に図書コーナーを開設したので、図書の充実を図る。	利用しやすいスペースで、中央図書館と連携しニーズのある図書を提供する。	多くの方に図書を利用して頂くように図書の充実を図る。
	文化	公民館まつり	サークル・講座の利用者が活動した成果を広く区民に発表する場を提供し、学習意欲の向上を図るとともに、生涯学習の重要性を啓蒙し、地域力の向上を図る。	サークル・講座の利用者が実施主体となって、企画立案し、ステージ発表会、作品展示会を開催する。	展示部門とステージ部門の発表会を行います。 中津川工業高校吹奏部、飛翔の里の合唱など地域の団体を招き交流します。
	スポーツ	区民運動会 各種スポーツ大会 各種スポーツ教室	スポーツを通して区民の健康、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。	坂本体育協会を実施主体とし、各地区から選出された体育委員を推進委員として、区民運動会、ソフトボール大会等を開催する。また学校施設を利用して、各種スポーツ教室を年間を通して開催する。	体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。
	運営	公民館利用者懇談会	公民館の管理や運営に対して充実を図る。	公民館を利用するサークル等団体の課題を解決するための支援をしていくことで、活動の活性化を図り地域づくりに活かして行く。	懇談会を実施する。

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 落合 公民館

2 重点方針

- 1.地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して地域力を高めるための支援をしていく。
- 2.家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊に育つ環境づくりを推進する。
- 3.地域の歴史文化への理解を深める機会を積極的に提供するとともに、伝統芸能の復興を支援することにより地域の絆が強くなるような環境づくりに努める。
- 4.生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図り、健康で心豊かな人づくり、地域づくりをするため、スポーツ関係団体などとの連携を一層強化する。
- 5.まちづくり推進協議会が策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」の実現を目指す。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項
生涯学習	公民館講座	地域のみなさんの自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに、仲間づくりなどによる潤いのある生活と健康の増進、感性の醸成を図ることを目的に開催。	年間を通し各種教室・講座(5～10回中心)を開講 ・教室…高齢者大学、女性大学、歴史教室、子ども(親子)教室等 ・講座…従来の文化スポーツ講座に地域性を組入れる(健康体操、ヨガ、太極拳、スポーツ吹矢)	自主的な講座運営を目指し、自主サークルへ移行できるように支援する。
	キッズクラブ(乳幼児学級)	乳幼児を子育て中の親さんを対象に、仲間づくり・子育て・遊びなど親子で学ぶ居場所づくりを場所とする。 少子化社会の中で地域で子育てを支援する環境づくりを創出する。	0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び(親子の関係・あいさつ・行動・躰など)を組み合わせ、毎月1回1年間を通して自主的な活動運営を高める。	老人クラブとの連携を密にして三世代交流づくりを深める。
	自主活動サークル支援	公民館を利用し地域づくり活動に積極的に活動しているサークルを情報提供や、事例紹介、広報活動などで支援し地域の活性化につなげる。	市民協働課で実施している「がんばる地域サポート事業」の採択団体を中心に協働のまちづくりの観点から各種アドバイスをを行う。	成果物ができることによる会員の自信、次へのステップにつながる。
	元気キッズ事業【小中学生】	異年齢集団による体験活動により、地域の人との交流を深めるようにする。特に、小学校高学年・中学生の参加促進を促す。	各号区単位の地域子ども会の活動を通して異年齢交流や地区行事に積極的に参加を促すことで子どもの出番と居場所づくりを支援する。 ・どんど焼き、夏休み合宿、三世代ウォーキング等	保育園、小学校、中学校と連携を強化する。
	図書ルーム	誰もが気軽に集える場所とする。	図書館と連携しながら利用者の学習ニーズに応える。	多目的会議室としても利用する。
文化	落合公民館まつり・ステージ発表会・作品展示会	子どもから大人まで文化・芸術に親しむ場と日頃の成果を披露する機会を提供するとともに、皆の交流の場とする。 地域の伝統文化の継承、個々の文化活動を高めるとともに、活動を通して地域づくり活動に結びつける。	サークルや講座の利用者が主体となり、企画してステージ発表、作品展示で成果発表する。 併せて、個人、保・小・中の子どもたちの1年間の活動(学習)成果発表をする。	「楽しくなければ公民館じゃない!」をメインテーマに開催。
スポーツ	体育協会落合支部事業	地域のみなさんの健康の維持・増進と仲間作りを目的とする。	体協行事の支援。 まち協の文化スポーツ部会も協力して取り組む。	なかつウォーク主催のウォーキング大会を5月を予定。今後継続的に開催を実施していく。
	落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョンの実現	コミュニティスポーツ(ウォーキング、マレットゴルフなど)の手軽にスポーツができる環境を創出する。	まちづくり推進協議会で策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」具現化を推進する。基本理念は「あなたらしくわたしらしく 生涯スポーツを!」。	新春マラソン大会の開催。 マレットゴルフ場の整備を着手。
運営	公民館運営委員会	公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。地域住民のニーズを把握する。	年に数回開催。 日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす。	講座の見学会も検討している。

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 阿木 公民館

2 重点方針

1. 地域の人々の日常的な学習活動の拠点としての公民館／人々が地域において、豊かな暮らしを送るためには実際生活に即した学習を重ねることが大切です。暮らしに関わるさまざまな課題や要求から導き出される学習活動を保障し、支える拠点として地域の人々の暮らしと学習を結びつけます。
2. 地域の人々のふれあいの拠点としての公民館／地域に設置される公民館は、人々のさまざまな学びの場となります。人々が住み慣れた地域で快適で安全に集うことができる場を確保し、公民館の行う事業や公民館を利用して行われる活動をとおして、地域づくり・まちおこし・健康づくり・地域ボランティアへの発展を目指します。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成／家庭・地域・学校が一体となり、地域の特色や人材を十分に活かして、地域の子どもの育ちを支えます。
4. 家庭教育の支援／子育てサークルの自主的な活動を尊重しつつ、子育て学習への取り組みの支援を行います。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	公民館講座・学習教室	趣味の講座や学習教室をとおして、誰もが安心して暮らしやすい地域の創造に向け、人と人とのつながりやふれあいを育て、地域づくり・地域おこし・健康増進・地域ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	公民館講座 趣味の講座、「私が講師」講座 学習教室 暮らしの教室、地域の課題を考える教室などや、手話講座、ウォーキングなどの福祉・健康関連を取り入れる。	地域づくり、地域おこし、健康増進、地域ボランティア活動に結びつけるよう年度テーマを設定し新しいプログラムを考え実施する。
	わくわく広場(乳幼児)【未就園児と保護者】	0～3歳児を持つ親の交流をとおして、親子間のコミュニケーションを深めることや、子育てに関する学習や悩みの解決、保護者交流をねらいとする。	週2回(火・金)阿木地域振興センターで開催。リーダーを中心として自主的な運営がされているが、計画づくりの段階で積極的に子育て学習などについてのニーズを把握し、提案や支援を行う。	会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。
	みちくさ教室(阿木子ども公民館)【青少年】	子どもたちの様々な体験、学習、交流をとおして健全な育ちを支えると共に、子どもと公民館との関わりを深める。	ものづくり、体験教室、地域外研修、地域を知ること、昔の遊びを伝える場をもうけ、地域の大人との三世代交流などを行う。 放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。	青少年阿木支部、社協阿木支部、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。
	いきいきねっと事業	地域の若者からお年寄りの「英知と力」を結集して、住みよくて、温かみある里づくりを推進する。	地域の安全安心を守りながら、子育て支援に力を注ぐとともに少子化問題に取り組む。	阿木区長会と共に、阿木地区 ファミリーサポート事業「ぼけっと」をバックアップする。
文 化	阿木文化祭(展示・ステージ発表会)	阿木文化連盟に所属する団体のほか、阿木公民館を活動の拠点とする各種文化関係団体の一年間の活動成果を発表する場とする。	日頃の活動を発表する場として、12月中旬に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民踊や詩吟、カラオケなどのステージ発表を行う。	阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。
ス ポ ー ツ	阿木体育協会および、阿木あんきスポーツ倶楽部との連携・協力	阿木地域の住民(子どもからお年寄りまで)の健康増進、体力向上、親睦を図るため各種の事業を連携して開催する。	カヌー教室 阿木区民運動会 ノルディックウォーキング スケート教室 新春マラソン その他各種スポーツ大会および教室、講演会を開催する。	
運 営	利用者の声の反映	公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。	日頃の公民館使用や会議の場などから利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 神坂 公民館

2 重点方針

- 1、生涯学習の推進・地域の人に学習の機会や交流の場を提供する。
- 2、青少年健全育成の推進・家庭・地域・学校が連携し子ども達が安全で安心して育つことができる地域づくりを支援する。
- 3、馬籠地域との連携・様々な機会を通じて神坂・馬籠地域住民の交流を支援する。(地域親善運動会・総合文化祭・敬老祝賀会・青少年健全育成)
- 4、地域づくりの推進・東山道もみじまつり・各まつりなど各種地域行事を通じて地域住民の交流と地域づくりを支援する。
- 5、公民館活動の充実・地域住民の学ぶ場として、学習の場や情報など必要に応じた援助を行う。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
	生涯学習	高齢者大学「湯舟沢大学」 女性学級	学習の機会を提供し、参加者の交流と生きがいづくりの支援をする。	年 8回開催	湯舟沢大学と女性学級は合同開催
		健康スリム体操	参加者の健康づくりと交流の場とする。	年10回開催	最終年度(3年)
		乳幼児学級「わんぱくらぶ」	子育ての仲間づくりと学習、情報交換の支援をする。	読み聞かせ・リトミック・遠足等 年10回開催	年1回 山口の学級と合同開催
		青少年健全育成推進	神坂・馬籠が連携し、体験活動等青少年健全育成の強化を図る。	環境美化空き缶拾い&ますつかみ・座禅大会・かるたとり大会・地域パトロール等	
文化	ふるさと神坂総合文化祭	学校・地域住民の日頃の成果発表や地域の交流の支援をする。	幼・小・中学校と神坂・馬籠地域住民の参加による作品展示とステージ発表。	作品展示には地域団体も参加	
	湯舟沢風土記	地域の文化遺産、自然遺産の継承を支援する。	専門の講師や地域で活躍されている方々を講師に迎え、神坂の歴史・文化・自然について学ぶことを目的とする。	最終年度(3年)	
	東山道もみじまつり	地域の観光PRと地元特産品の即売、地産地消の推進など学校も参加し地域住民の交流の場とする	もみじ狩りとウォーキング・神坂の歴史講話・特産品の即売・ミニSL・無料豚汁サービス等 各イベント	雨天決行の予定	
スポーツ	神坂学校・地域親善大運動会	学校と神坂・馬籠の地域住民と地域団体が一体となり、スポーツで親睦を深める。	幼・小・中学校と地域住民(神坂・馬籠)・消防団(神坂・馬籠)・老人クラブが参加		
	親子スキー教室	親子で参加のスポーツ体験で参加者の交流を深める。	地元講師によるスキー・スノーボード教室 親子でそり遊び	24・25年度 募集人数を満たさないので中止	
	湯舟沢リバーサイドマラソン	健康と体力づくりの関心を深め神坂・馬籠地域住民の交流の場とする。	小学校低学年、高学年、中学女子・男子、一般、親子でマラソンを実施その後ウォーキング教室を実施		
運営	調整会議	学校・地域(神坂・馬籠)・各団体の行事が重複しないようにする。	幼・小・中学校・地域(神坂・馬籠)・各種団体代表によるスケジュール調整		
	乳幼児図書コーナ	読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。	乳幼児の絵本・大型絵本・かみしばいを事務所の一室に設置。	乳幼児学級で使用していく。	
	広報みさか発行	地域内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。	毎月1回 地域情報提供 全戸配布		

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 山口 公民館

2 重点方針

1. 住民の目線に立って、地域の暮らしに根ざした公民館活動を進め、健やかで穏やかな「山口」づくりをめざします。
2. 子どもを地域の宝ととらえ、より多くの住民が子どもの育ちに関わり、見守るまなざしが持てるよう活動を進めます。
3. 地域における活動や人材を結びつける視点を持って活動に取り組みます。
4. 地域文化の向上と文化活動を通じた住民の交流を支援できるよう文化振興に努めます。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	高齢者大学「生きがい大学」	高齢者が生きがいを見つけ、日々をより豊かに送るための支援をする	年10回開催 講義、実習、地域外研修、交流会などを実施	
	公民館講座	仲間づくりや健康づくり、学習の場をと おして、豊かな生き方に結びつける。	地域づくり学習 地域に根ざした講座の開催 やさか地域合同講座 わくわく体験くらぶ、文化歴史散 歩講座、茶道教室等を3公民館合同で開催	
	乳幼児学級「にこにこ広場」	乳幼児期の家庭における教育力の向 上と、親子のふれあい、交流を図る	年10回開催 0～3歳児を持つ親子を対象 親子のふれあいを楽しみ、子育て世代向けの学習や体 験交流を行い親の学びの場を提供する。	
	青少年健全育成推進	山口地域の独自性を意識し、他の組織 と連携し、地域ぐるみでの子ども育成を 進める。	市民会議山口支部事務局として、活動を支える。 危険箇所点検、街頭啓発、推進大会、教育のつどいな どのやさか地域事業を連携協力して実施。	
文化	地域文化の振興	地域の文化芸能活動を支援すること により、住民の文化意識を向上させる。	山口・馬籠文化協会主催の所属団体による文化芸能祭 (展示・芸能部門発表会)の開催を支援する。	
スポーツ	住民のスポーツ活動	スポーツにふれる機会を創出し、住民 の交流とスポーツ活動参加へのきっか けをつくる。	体育協会支部と連携し、地域運動会・スキー教室などを 開催する。	
運営	公民館運営委員会	公民館の管理、運営を円滑にし、公民 館活動の活性化を図る	年2回開催 公民館利用者でもある委員の声を聞いて、利用しやす い公民館を目指す	
	図書室の充実	児童図書の充実と地域図書館としての 活動の充実	放課後、児童が利用するため、児童図書の充実を図り、 地域団体と協力して読み聞かせ等の読書活動を充実さ せる。	

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 坂 下 公民館

2 重点方針

1. 親子の仲間づくりに重点を置いた乳幼児学級の実施と、保護者を対象とした子育て学習等、地域に教育力の向上と活用をめざした家庭教育の展開を推進する。
2. やさか地区をはじめ、関係諸団体との連携による青少年健全育成活動の推進を図る。
3. 楽しくておもしろい公民館講座等による地域リーダーの育成と地域づくりの推進を図る。
4. 地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児学級(ほほえみ教室)	就学前の親子を対象に、子育てを通して仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭の教育力を高める。	月一回の定例学級と班活動により、乳幼児からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。	やさか地区合同の乳幼児学級を二回程度設定、地域間の交流を図る
	青少年健全育成活動	啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。	危険箇所の点検、街頭啓発活動、登下校の安全確保などの活動を実施して。子どもたちを地域で守る意識を高めていく。また、公民館図書館と連携して、「課題図書」の提供を行う。	地区(10)ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施
	わくわく体験クラブ	やさか地域の小学生と保護者で体験活動と交流を図る。	地域の自然に触れたり、創作活動、科学実験等の各種体験に親子で挑戦する。	楽しくおもしろい多種多様な体験活動を想定、やさか地区合同での開催を追求
	公民館講座の開催	若年層から高齢者まで学習機会と仲間づくりの場を提供し、地域づくり・ボランティア活動へのきっかけを作っていく。	楽しくおもしろい講座での学習や体験を通して個々の能力の活用や世帯間交流を図る。	平成25年度並みの講座数を予定 やさか地域で連携して提供
	教育のつどい・青少年健全育成推進大会	青少年の健全育成をめざして、地域の諸団体の連携の場とする。	園・学校・家庭・地域社会が情報を共有・発信し合い、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。	11月1日予定、やさか地区小中学校の授業参観、実践発表などの予定
	図書館まつりの開催	子どもたちの読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。	公民館図書室を知ってもらうきっかけづくりにしたり、ほんの楽しさを広げる企画を行う。	小中学校夏休み期間中を予定
文化	「花馬まつり」(坂下)の保存・伝承	無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛護思想の高揚を図る。	「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。毎年10月の第二日曜日に行われる。	囃子方、子ども手踊り等の練習場所の確保に留意する
	歴史・民俗資料の保存・伝承	地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。	文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存・公開を追求する。	坂下民俗資料保存会と連携し、(仮称)歴史・民俗資料室の整理、展示、維持・運営方法を考究する。
	文化事業	文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。	年一回、文化祭・芸能祭を開催。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎の公演なども行い、後継者の育成を試みる。	10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎保存会公演を予定、それぞれの団体が開催し、その活動をサポートする
スポーツ	各種スポーツ大会の開催	スポーツを通して子どもから大人までふれあいの場と健康づくりの場を提供し、スポーツ機会の充実を図る。	元旦走り初め大会・樅の湖ジョギングお楽しみ会・各種駅伝大会・卓球・ソフトバレーボール・ビーチボール大会などの開催。	坂下総合体育館、やさかいきいきクラブと連携強化を図る
運営	公民館運営委員会	公民館などの管理や運営に利用者の声を活かす。	委員会・日頃の公民館利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。	総合事務所との連携

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 加子母 公民館

2 重点方針

- 1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機械を提供する(家庭教育)
- 2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達を核とした地域づくりを促進するための情報や機会を提供する。(青少年健全育成)
- 3.生涯学習活動を支援し、街づくりに参画する市民活動の原点を養う。
- 4.健康を基礎とした人づくりをめざし、スポーツ・レクリエーションを推進する。
- 5.伝統文化の継承を支援する。

重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	家庭教育推進(家庭教育)	幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。	乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。	乳幼児学級で地域間交流を行っていく付知・東白川・白川等
	加子母教育の日(家庭教育)	地域の教育力を高め、地域で子育て、地域教育をみんなで考える。	教育について地区市民を中心に考え語り合う機会を提供する。	通常11月最終日曜日
	青少年健全育成事業	地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。	挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践していく。	10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。
	風起こし事業	明治座を管理し、広く公開をすることと明治座を核として、各団体をまとめながら地域活性化を図る仕掛けをしていく。	明治座の実験会館事業により案内人を常駐させ、より詳しく明治座について説明する。また木の語りべ事業・ふるさと交流大学事業を継続すると共に、各団体のつながりを活かして事業を創出していく。	明治座実験開館、ふるさと交流大学事業(クラシックコンサート5月16日、17日)、子どもたちの舞台芸術教室(舞台づくり9月日から9月7日※予定)など
	公民館講座	年齢層に応じた学習内容、仲間づくりを目的に実施していく。	地域から要望の多い文化スポーツ講座、地域づくり講座を実施する。	平成2年度 地域づくり学習 2講座 文化スポーツ講座 3講座 短期講座3講座
	図書室の利用向上	図書室の移転に伴い、今まで利用していないような年齢層の利用者の増加を図る。	利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書に係るイベントの実施する。	図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぼっこ」によって行われている。
文化	伝統芸能保存活動	地域の伝統芸能を次世代へ継承するよう、保存していく。	歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居の保存伝承、獅子芝居の台本の復活と衣装の更新を進める	9月に明治座で歌舞伎公演・加子母総社水無神社祭典で獅子舞奉納等を行う。
	文化協会事業	地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。	24の文化団体で構成	10月に文化祭を開催し、1年の練習・研修の成果を発表する。
	「史・民俗資料」の保存・伝承	地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の保存・伝承を図る。	「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。	地域ボランティアを立ち上げ、維持運営を行う。
スポーツ	スポーツ少年団活動	スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る	4団体ある少年団を指導員と保護者でなる育成会で構成	野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学4年～中学生を対象に団員募集し活動する。
	加子母体育協会事業	競技スポーツの強化、一般スポーツを普及し体力増進と健康の維持を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。	競技スポーツについては、スポ少と連携して強化を図るとともに一般の競技者の技術向上を図る。一般スポーツについてはスポーツになじみのない住民に軽スポーツ等によりスポーツにふれる機会を増やしていく。地区体育祭は10地区対抗競技として行う。	体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時約1000人集まる加子母で最大の行事である。
運営	明治座改修事業	明治座を維持管理しながら保護をす	屋根瓦の葺き替え等やその他の改修	来館者に寄付金を募っている。

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 川上 公民館

2 重点方針

- 1 家庭教育の充実を図るため、家庭教育学級活動等を支援と各関係団体との連携を強める。
- 2 青少年健全育成活動を推進するため、家庭・学校・地域の連携を図り、子どもたちを地域全体で育成する環境をつくる。
- 3 公民館が地域のコミュニティの場となるよう、地域の特色を生かした講座や活動を実施する。
- 4 体育協会やまちづくり推進協議会と連携し、文化スポーツ活動と地域づくり活動を支援する。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	乳幼児期家庭教育学級	就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習、講座、情報交換を通じ仲間づくり	・月1回開催(やさか地区合同学級年2回含む) ・企画、進行等学級生が主体となって活動を行う	学級通信、講師依頼等をサポートする
	公民館講座の開設	学習を通して個々の能力の活用や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す	若年層から高齢者までの学習機会と仲間作りの場をやさか地域が連携して提供する	もみじの里楽校(高齢者大学)は老人クラブとの共催事業として進める
	青少年健全育成事業(川上)	関係団体や地域との連携を密にし、青少年の健全育成を推進する	・支部連絡会・郷土かるた大会・木工教室・ふれあい登山 ・伝統芸能活動の支援 ・地域行事への参加促進	世代間交流を重点として取り組む
	青少年健全育成事業(やさか)	やさか地域が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る	・街頭啓発 ・危険箇所点検 ・あいさつ運動 ・やさか教育の集い兼青少年健全育成大会	やさか教育のつどいは、幼稚園、2保育園、3小学校、中学校、高校、青少年3支部が連携し実施する
	わくわく体験くらぶ(やさか)	やさか地域小学生の親子の体験活動と交流(坂下中学校への入学前に3地域の小学生の交流を深める)	親子で料理、科学工作、自然体験、地域交流等の活動を開催	
	公民館図書室活動	住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大を図る	・読み聞かせサークル「しゃぼん玉」と連携をとり「読み聞かせ会」の開催。 ・図書室まつりの実施、図書室だよりの発行 ・保育園、小学校との連携強化	図書室祭りは年2回実施
	地域づくり型生涯学習支援	住民が主体となったまちづくり活動を通じた地域づくり	地域の課題や多様化するニーズに対応するため、地域づくり事業計画の実践活動を支援する	子育て支援部会の活動支援
文化	文化活動の支援	地域の文化芸能活動の活性化	文化祭(展示の部、芸能発表の部)の開催	文化協会、まち協が主催となって開催
	民俗資料等の整理、保存	文化財の保護、活用と民俗文化財の整理	民俗文化財を整理、保存作業を推進する	郷土文化財保存会が作業
スポーツ	区民運動会	スポーツを通じ、老若男女が一堂に会し交流を深める	まちづくり推進協議会が主催し、体協川上支部、区長会、地区体育推進員等地域が一体となって開催する	地区住民の半数が参加するイベント
	軽スポーツ大会	軽スポーツを通じ、地域交流の促進を図る	・ビーチボール大会 ・グラウンドゴルフ大会(春季、秋季)	体育協会が主催
運営	公民館運営委員会の開催	地域の特色を活かした活動の活性化と地域住民の意見を大切に運営を進める	公民館運営委員会(各種団体、利用者等15名)を開催し、その意見を運営に反映させる	

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 付知 公民館

2 重点方針

1. 家庭教育の充実のために、各組織が協働しながら活動を推進するとともに、サポーターなどを育成する。
2. 青少年の健全育成を推進するために、青少年付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
3. 伝統文化活動を支援するとともに、その文化を次世代に伝承できる取り組みを行う。
4. 地域の文化財を後世に継承していくために文化財保存会を中心に文化財保護活動に取り組む。
5. 総合型地域スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健やかな市民づくりを目指す。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	付知乳幼児学級	乳幼児とその親たちの家庭教育と情報交換の機会を提供し、子育てや地域社会とのコミュニケーション能力の向上を支援する	未就園児の親子を対象に月1回程度、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。すくすくわくわくまあるいこころと読み聞かせサークルおひさま、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。	参加者が減少している
	青少年健全育成推進市民会議付知支部	地域全体で子どもの健全育成と安全確保ができるように支援する。	夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウオーキング、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、地域子ども会支援などの事業を実施。	学校と地域との関わりの強化が必要である。
	公民館講座の開設	講座をとおして、仲間作りと知識や能力を向上する場所を提供し、豊かな心の醸成を目指す。	地域づくり講座、文化スポーツ講座として、各種講座を実施。「私が講師！事業」講座の活用。	当番制で受講者に運営の補助を行って頂く。本年も子ども対象の講座開設を行っていく。
	青川フェニックス大学【高齢者】	高齢者の知識向上と生き甲斐づくりを目指し学習機会を提供をする。	平成25年度実績・・・普通部7講座、専門部15講座 卒業者数延べ 205人 皆勤者数 58名	運営委員会により自主的に運営され、公民館はオブザーバー的な形で関わっている。市民講師を多く活用している。
文化	伝統芸能の保存事業	地域の伝統芸能を次世代へ伝承できるよう支援する。	木遣音頭、翁舞、三輪神楽などの伝統文化が後世に受け継がれる取り組みを実施する。保存会協議会やイベントへの出演、活動への支援などを行う。学校との連携を進める。	木遣音頭及び翁舞は県重要無形民俗文化財に指定されている。会員の高齢化が進んでおり、後継者の育成が急がれる。
	文化祭事業	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚のため活動を支援する。	文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、展示部門と芸能部門とカラオケ大会の3回を開催している。	自主的に運営され、会員の発表機会として大きな役割を担っている。
	文化財保護	文化財を護り継承していく。	付知町文化財保存会を中心に、付知地域にある文化財を地域の人で護り継承していくために、文化財の手入れや環境整備・見学会を実施、支援する。	文化財に対する意識を高め、それにより地域の文化財を未来へ継承する仕組みを構築する。
スポーツ	生涯スポーツ推進事業	スポーツ教室などを開催することで、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。	総合型地域スポーツクラブやスポレククラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催する。	市民が自主的に子供から大人まで多数参加できるようなスポーツ教室や体験会を開催している。参加者の減少、経費、PR方法など検討課題。
	スポーツ団体育成支援事業	スポーツ団体の活発な自主活動化。	付知スポーツレクリエーションクラブ、付知スポーツ少年団8団、体育協会付知支部16部のスポーツ活動を支援する。自主的な活動を促し、スポーツ大会や教室など子供から大人まで参加できるスポーツ活動を推進する。	各団体ごとに活発な活動をしている。自立に向けた取り組みを進めており、各団体にも理解されつつある。NPOつけちスポーツクラブにおいては、H20年度からB&G海洋センターの指定管理者となり、スポーツ関連の活動拠点であり、スポーツ活動の中心的な立場を担っている。またH22年度から付知スポ少と体協付知支部の事務局をNPOへ移管している。
	つけちスポーツレクリエーション祭	スポーツを通じて、地域住民の健康増進と地域間交流を促進する。	スポーツを通じて、地域交流や健康増進、地域作りに寄与するイベントであり、例年約12種目、500名程の地域住民が参加している。	平成23年度から主催をまちづくり協議会に移行。より多くの市民にスポーツを楽しんでいただき、交流、健康増進をしていただく機会づくりの場として平成17年より毎年開催している。まち協へ移行後も公民館担当者の開催までの業務量が多いこと、また、参加者数が伸びておらず、今後の自主運営及び内容について検討が必要。
運営	図書室の充実	地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。	①市民への情報提供：図書室便り、企画展示 ②イベント：図書室祭り、読み聞かせ会 ③利用者へのフォロー：図書検索、予約など ④読み聞かせサークルの支援	利用者のニーズを的確に把握することが重要である。

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 福岡 公民館

2 重点方針

1. 安全で安心して住むことのできる地域づくりを支援します。
2. 家庭、学校、地域、各種団体等と連携して「地域教育力」の向上に努めます。
3. 市民の居場所づくり、出番づくり、仲間づくりを支援します。
4. 伝統文化の継承と当該団体の育成を支援します。
5. 遺跡、文化財等の保護活動に努めます。

3 重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習	各種講座の開催	学習の機会を提供するとともに、交流と生きがい作りを行う。	文化スポーツ講座を開催するとともに、市民の要求に沿った学習機会を企画運営する。	
	乳幼児学級 (母親サークル)	子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。	未就園児の親子を対象に、月1回開催し、子育ての学習や遊びなど、親子でふれあいながら交流を深める。	参加者の自主活動で行われ、リーダー、地域の子育てサポーターの方たちが連携して運営している。
	青少年健全育成活動	家庭、学校、地域が連携し、青少年の健全育成に努める。 福子連の自立と育成及び地域子ども会の自主的活動を推進する。	社明運動やふるさと祭りを始め、各分会において健全活動、保護活動を実施する。 福子連(福岡子ども会連絡協議会)主催のかかるた・百人一首大会の実施やニッ森ふれあいクラブ祭りへの協力を行う。	保護司、更生保護婦人、民生児童委員、PTA、学校、当該推進委員が連携して活動。 次世代の担う子供たちの育成を保護者の方たちと支援する。
	高齢者ふれあい学級	毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。	講師による勉強会を開催するとともに、見聞や知識を広める研修会を年2回開催する。他地区との交流を更に深める。	
文化	文化活動事業(文化展)	地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。	ふくおか文化協会が主催し、住民の成果発表と作品展示の場として、毎年11月の第一土曜日と日曜日に文化展を開催する。	毎年200名以上の方が出品され、2,500名以上の来場者がある。
	芸能活動事業(芸能祭)	地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。	ふくおか文化協会に加盟している団体等が日頃修練してきた成果発表(出番作り)の場として、毎年3月の第一日曜日に開催する。	協会団体や会員を募集するとともに、賛助会員を募り、文化協会を更に発展させる。
	遺跡・文化財等保護及び継承	遺跡・文化財の現状を把握し、保存していくとともに、郷土の偉人など郷土の歴史と併せて後世へ伝承していく。	遺跡・文化財の現地調査を行うとともに、資料の整理を行う。 講座やふるさと学習会を開催して、郷土の歴史・偉人を後世に伝承していく人づくりを行う。	
	伝統芸能保存事業 (常盤座歌舞伎保存会)	地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。	常盤座歌舞伎保存会が毎年3月の最終日曜日に歌舞伎定期公演を開催する。	常盤座歌舞伎保存会、常盤座数敷会(支援団体)、歌舞伎子ども教室が積極的に活動している。
	ニッ森ふれあいクラブ活動	地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成する。	文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、ニッ森ふれあいクラブ祭り(8月)及び発表会(2月)を開催する。	文化系4クラブ、スポーツ系12クラブが活動中。 福岡地区外の子どもたちも参加している。
スポーツ	福岡体育協会事業	体育協会をサポートすることにより、住民の健康増進とスポーツの普及を図る。	各種スポーツ大会(市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール)及び元旦マラソンを開催する。	各種スポーツ団体として14クラブあり、その他の団体として5団体が活動している。
運営	図書室の充実と活用	地域図書館としての機能を充実させるとともに、利用しやすい図書室を目指す。 小中学生の帰宅待機の機能の充実。	本の整理を進めるとともに配置換えなどを行い、利用しやすい図書室にするともに、保育園などと連携し、利用者の増加を目指す。児童書(絵本含む)の充実を図る。	小中学生の学校からの帰宅時、保護者の迎え待ちの待機場所の役割も担っている。

平成26年度 公民館の重点方針・事業について

1 公民館名 蛭川 公民館

2 重点方針

1. 蛭川振興会と連携し、地域を活性化するため地域が主体となって、文化・スポーツ、生涯学習に取り組める素地をつくる。
2. 地域住民の学習活動、生きがいつくり、仲間づくりなど生涯学習の場と機会を提供する。
3. 地域・家庭・学校と連携し青少年を健全に育成していくための環境づくりを推進する。
4. 健康で心豊かな人づくり、地域の文化向上、郷土伝統文化の継承を目指して、文化・スポーツ団体と連携して文化・スポーツ活動を推進する。

3	重点事業	事業名	ねらい	概要	特記事項等
生涯学習		家庭教育【乳幼児学級】	乳幼児の保護者の学習と仲間づくりを支援する	乳幼児学級(あそびの広場)を月1回開催し、遊びや学びの場を設けて親子のふれあい、親同士の交流を行う。	学級生役員による企画・運営の支援と、リーダーの育成と後継者づくり
		公民館講座	生涯学習の場を提供するとともに、地域における生涯学習への支援	文化スポーツ講座を4講座開催するとともに、地域の学習要求に沿った学習機会を企画し運営する。	地域の学習要求に合致した自主講座の開催
		青少年健全育成推進	地域連携による青少年の健全育成活動の実践	推進市民会議支部が軸となり、PTAおよび地域振興会と連携して青少年健全育成活動の取り組みを行う。	あいさつ運動、夜間巡回、夏祭り協力、成人を祝う会、カルタ大会、支部総会、支部大会、なんでも塾協力など
		高齢者学級【あじさい学級】	高齢者の生きがいつくり、仲間づくり、学習活動を支援する。	月1回開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、社会見学、研修旅行、保育園児との交流などを実施する。	学級生による自主運営が望ましいが、高齢者でもあり、公民館の支援が重要である。
		なんでも塾【小学生対象】	活かせ、地域の教育力。有志ボランティアの協力を得て、土曜日の子育て活動を支援する。	地域の講師から、茶道、華道、書道、裁縫、着付け、算数、将棋、スポーツ、ホテルの観賞と成育、川遊び、農業、地域伝統文化などを学ぶ。	定期塾(月1×8回)、随時塾(テーマ毎に1回程度)を開講
文化		文化・芸能活動支援	地域の文化芸能活動の活性化支援	文化協会が行う芸能祭(6月)・文化展(11月)への支援および伝統芸能保存会の活動を支援する。	文化展については、地域の文化展としての在り方を検討する。
		郷土資料保存伝承	地域の文化遺産・文化財などの保護保存と後世への継承および公開活用	郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化を推進する。	ボランティアの協力のもと月2回の作業を進める。
スポーツ		各種スポーツ大会 地区運動会 スポーツ教室	支援	スポーツ活動の機会を設けて、健康づくりや地域のふれあいを支援し、	体育協会・総合型地域スポーツクラブによる企画の他、振興会との協働による地域対抗スポーツ大会などの運営を支援する。
運 営		公民館運営委員会	地域の生涯学習としての拠点としての公民館づくり	利用者がより快適に利用できる環境づくりと、生涯学習ニーズの把握を行う。	公民館運営委員会が積極的に運営に関わられるような体制づくり